

ばらんす

第27号

編集発行

大田原市総務部企画政策課
男女共同参画係
〒324-8641
大田原市本町1丁目4番1号
☎ 0287-23-8701
FAX 0287-23-8748

～より良い明日を目指して～

平成21年度 男女共同参画講座

7月から市総合文化会館において講座が開催されています。今年度は受講者が定員を超え、市民の意識が高まっています。全6回のうち今回は1回～3回について報告します。



7月16日

「子供を育てる話し方」

国際医療福祉大学
言語視聴覚学科 畦上恭彦 准教授



早起き・早寝・朝ごはん、そしてあいさつ、読み聞かせの大切さが丁寧に語られました。

コミュニケーションは、文化や自己肯定感の根を学べることであり、子供への具体的なことばかけの技法まで教えて頂きました。

- ◆子供の行動や言葉をまねて、気持ちを言葉にし、広げて返す。
- ◆大人の気持ちや行動を言葉にする。

【参加者の感想】

・子育てをもう一度やり直したいと思いました。子供は未来の宝ですから、これから育児をするもっと多くの人に聞いてもらいたいです。

8月20日

「ストレスに負けずに 元気に暮らすために」

医療法人 見川医院
見川泰岳 理事長

父親(見川鯛山)や幼少時のこと、交通事故で大怪我をしたり、奄美大島での医師生活、地元に戻って近所や全国からくる患者の様子などの話の合間に、有意義な生き方の極意を話してくれました。

- ◆ストレスを感じた時は、甘くて温かい物を飲む、ペットを抱く、大地に覆そべるなど自然に身を置く。
- ◆自分に起こった事故、病気、不幸は学ぶチャンス。
- ◆自分を嫌わない。
- ◆自分の調子を守って生活する。

【参加者の感想】

・人との接し方やストレス解消法がわかり、楽しく、これからの生き方に役立つ講義を受けることができて良かったです。



9月17日

「認知症高齢者への アプローチの実際」

国際医療福祉大学
作業療法学科 下田信明 准教授



「認知症は病気と老化の境目がないので、共に生きる心構えが重要です。アプローチのヒントとしては、高齢者がこれまでの人生で様々な経験をしており、仕事や得意としていることをやると心の落ち着きや脳の活性化が図れます。音楽活動で、リズムや重畳を使うと有効です。」
といったことを映像を使いながらのわかりやすい講座でした。

【参加者の感想】

・自分は認知症にはならないと思っていますが、こればかりはわからない。予防として家から出て人と人の交流をしています。
・認知症はまわりの人が特別のことと思わず受け入れることが大切なんですね。

パパはただいま 子育て修行中

大田原市男性職員で育児休業取得
第一号は、志賀武人さんです。

今年4月から1年間、育児休業を取った志賀さんは、市内実取に妻、「長男和人（カズヒト）5歳」、「次男理人（マサヒト）1歳（昨年7月生）」の親子4人で暮らしています。

Q 育児休業をとるきっかけは？
A 男性も育児休業が取れるなら取ってみようと思い取りました。いろいろと考えると大変なこと、マイナスなことばかり出てくるのであまり考えずに取ってみました。

Q 周りの反応は？
A 「女性が育児休業を取るのと比べていろいろと大変だよ」「大変だけだからばってね」と応援されたりした。また、男性からは「俺も取りたかったんだが」とか「子供ができれば俺も……」と言われることもあり、中には「男性が（育児休業を）とるの？」と嫌な顔を

する人もいました。

Q 一日の生活は？

A 朝食の準備（離乳食やミルクも）、朝食・妻出勤・長男幼稚園準備・長男登園（バス）、洗濯・掃除……とやればいいが、理人の相手をしているとなかなかうまくいきません。

当初は、離乳食やミルクも食べなかったり、お腹をこわしたりしていたが、最近は、大人が食べているのと同じものを欲しがるので薄味のスープを作ったりして、大人用はそれに味を加えたりしています。

育児は時間が決まっていないこと、仕事などは「今日は、これでおしまい」

があることで、精神的にも休めるが、子どもが寝ていても、出かけられるわけでもなく、いつ起きるかと一日中緊張しているのは大変です。

また、4・5月の頃は、夜中に2・3回起きるので、ミルクを作ったり、寝かしつけたりしていたが、夜中に起きる事が今までなかったのでもたいへんでした。

外出した時のおむつ替えでは、デパート等の授乳室に、男性が入るとちょっと視線が痛かったり、おむつ替え用の場所が女性用トイレにしかなかったりするので、最近は、外出時は車の中でおむつ替えをすることが増えました。

子供がすぐに成長するので注意しておくべきことはすぐ変わる。【例】先週末まではテーブルの上には手は届かなかったが、今週は届くようになったので、物が届けなくなった等。

Q 育児休業終了後は？

A 次男も預ける予定ですが、「次男をどこに預けるか」、「長男の延長保育」など問題がいろいろです。

Q 夫婦が共に安心して働けるには？

A 「経済的支援」と「周りの理解」

Q 最後にお父さんにアドバイス



A 育児休業の制限自体が女性対象に考えられているので、男性が初めて取る際には、担当といろいろ相談して下さい。2・3人取られた後だと担当もスムーズに対応できると思うので、職場初にこだわらず、皆さん取って下さい。また、手当や扶養など変更した際にそれに付随する書類も必要となりますので、当然女性の都合より手続きが増えます。

お話を伺って感じることは、子育てによって仕事一辺倒ではわからない自分や人の優しさに気が付き、また時間的感覚・「スト感覚が身につく、今後それが仕事を通して社会に還元できると感じました。



きっかけ求めて変わろう！ 挑戦！ 共同参画！

9月5日(土)那須与一伝承館において、シンポジウム“一人ひとりが輝く大田原のつどい”が開催され、コーディネーターによる「代り目」と題した夫婦落語が披露されました。

(主催:大田原市・大田原市女性団体連絡協議会)

パネリストには、君島景子さん(実取団地自治公民館長)、川上聖子さん(エルム福祉会地域生活マネージャー)、矢板紀生さん(大田原赤十字病院看護師)の3名、コーディネーターには落語家の橋家蔵之助さんをお迎えしました。男女の域を超え、各分野で先がけとなる活躍をしている

パネリストの体験談や、今後の希望などへと話が進みました。

会場からは

- 落語で日頃のストレスから開放された。
 - パネラーが身近な方々だったので親近感があり、わかりやすかった。
 - 挑戦することは大切なこと。勇気がもたらえた。
- など、前向きな感想が多く聞かれました。



大田原市
女性の
海外研修

夢のある明日へ

～我が街に更なる輝きを～

10月6日(火)～10月15日(木)までの10日間、フランス・オーストリアでの研修を終了し、10名元気に帰国しました。

今年はカヴァイヨン市表敬訪問の他にヴォークリューズ県表敬訪問をしてきました。



ウィーン市立幼稚園にて 園長先生と共に

第8回 団員のみなさん

磯	律子さん	伊藤	幸江さん
奥	田喜代美さん	梶本	トシイさん
五	江淵富美子さん	西海	石清美さん
齋	藤久美子さん	齋藤	博子さん
西	村明美さん	松田	清美さん

研修を生かして

去る3月3日(火)全業工業株式会社栃木工場に於いて“役職者研修会”が開催されました。

栃木工場では環境保全活動に取り組んでいます。

そこで環境をテーマに、平成20年度大田原市女性の海外研修派遣団員の西村(旧姓 佐藤)夕紀さんが、研修先であるスイスの環境への取り組みについて発表をしました。



男女共同参画講演会と海外研修報告会のお知らせ

婚活時代の男女共同参画

～「うちの子はなぜ結婚しないの？」～

来年1月31日(日)総合文化会館ホールにおいて、山田昌弘氏(中央大学文学部教授)による講演会が開催されます。“婚活”という言葉の意味とその社会背景を、エピソード・ユーモアを交えながら分かりやすくお話させていただきます。



当日は、第8回大田原市女性の海外研修派遣団のオーストリア・フランス研修の報告会も行われます。

皆さまのご参加をお待ちしています!!



全国難聴女性研究大会に参加し、人はコミュニケーションに障害を受けると、—心にこんな大変な傷を受けるのか—と、生の叫びを耳にして大きな衝撃を受けた。また、今年度の男女共同参画講座でも、開講日、我が国の文化、家族の絆に対話の重要性が訴えられた。「ばらんず」も、市民の絆の一翼にと微力ながらも願っている。

(谷辺)



編集委員 (五十音順)

磯 由美子	栗原 敏子
佐藤 長子	清水麻優美
住吉すみ子	谷辺 範夫